

せんだい 都市交通 プラン



令和3年3月
仙台市



目次

1. はじめに.....	1
1-1. せんだい都市交通プランの策定について	1
1-2. 本プランの位置づけについて	2
2. 本市における現状と課題.....	7
2-1. 本市の現状について	7
2-2. 現状と課題の整理	27
3. 交通の将来目標.....	28
3-1. 交通の将来目標	28
3-2. 交通政策の基本方針	32
3-3. 将来の交通体系	35
4. 将来目標の実現に向けた施策.....	37
4-1. 実施施策	37
4-2. 実施プログラム	78
4-3. モニタリング指標の設定	80
5. 計画の推進について.....	81
5-1. 推進体制	81
5-2. 計画の進行管理	81
(参考資料)	82
せんだい都市交通プラン（H22.11策定）の振り返り.....	82
用語解説	86
検討体制・検討経緯	89

1. はじめに

1-1. せんだい都市交通プランの策定について

本市では、平成 22 年に「せんだい都市交通プラン(以下、プラン)」を策定し、100 万都市のにぎわいと暮らしやすさの確保を目指して、「鉄道にバスが結節する、公共交通を中心とした、過度にクルマに依存しない交通体系」を構築するため、地下鉄東西線の開業により機能集約型都市構造の基軸となる十文字型の骨格交通軸を形成するとともに、仙台駅周辺地区の交通結節機能強化や東西自由通路の拡幅整備、青葉通再整備事業などによる都心の交通環境改善などに取り組んできました。

一方で、プランの計画期間である 10 年が経過し、本市を取り巻く社会情勢の変化や、東西線開業後の交通行動の変化、少子高齢化の進展等に伴う市民ニーズの変化などへの柔軟な対応が求められてきていることから、これからの本市における交通政策の指針として、新たなプランを策定します。

新たなプランでは、現状の課題を整理し、課題への対応を踏まえた交通政策の目標や基本方針を定め、各方針に基づいた実施施策を示します。また、実施施策の推進体制の構築や実施プログラムの設定、適切なモニタリングによる計画・施策の改善を行い、将来目標の達成を目指します。

1-2. 本プランの位置づけについて

1-2-1. 本プランの位置づけ

本プランは、上位計画である「仙台市総合計画」を踏まえ、本市における交通政策の指針として定めるものです。

また、より効果的・効率的に事業を展開していくため、関連計画である「仙台市都市計画マスタープラン」やその他交通に関する計画と連携を図っていきます。

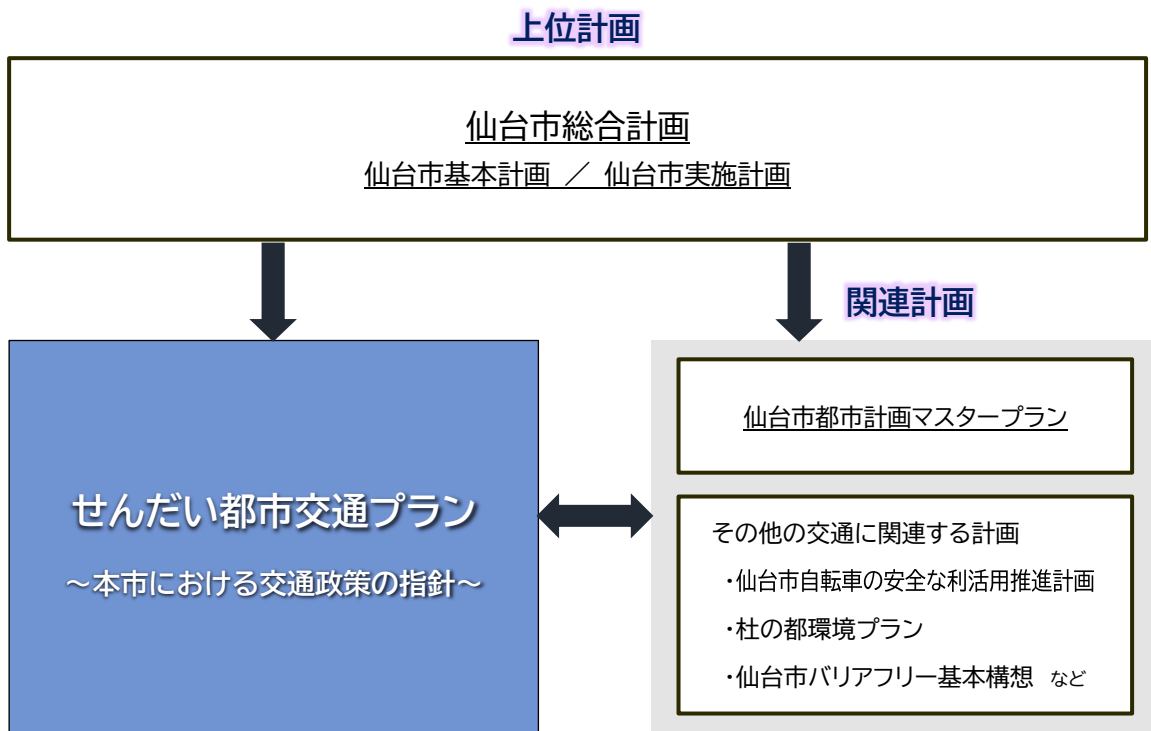


図 1 本プランの上位計画と関連計画

1-2-2. 計画期間

本プランの計画期間は、仙台市基本計画や仙台市都市計画マスタープランの計画期間と合わせ、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)とします。

1-2-3. まちづくり関連計画

(1) 仙台市総合計画（上位計画）

仙台市総合計画は、住民や地縁団体をはじめ仙台に関わる方々が、ともに進む方向を共有することを目的に策定しており、仙台の目指す都市の姿とその実現に向けた施策の方向性を示したまちづくりの指針となる「基本計画」と、目標の着実な実現に向け具体的な施策を取りまとめる「実施計画」で構成されています。

■計画期間

「基本計画」の計画期間は10年間とし、初年度を令和3年度(2021年度)、目標年次を令和12年度(2030年度)としています。行政運営の長期的な指針となるものであるため、目指す都市の姿については、21世紀半ば(2050年頃)を見据えるものとしています。

具体的な目標と施策を定める「実施計画」は、「基本計画」の期間を3つに分割し、概ね3年間としています。

■まちづくりの理念



まちづくりの理念として、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City”SENDAI～」を掲げ、「杜の都」と親和性のある Green という言葉に、目指す都市像に関連する多様な意味を持たせるとともに、世界を見据えて常に高みを目指していくという方向性を示しています。

■目指す都市の姿

本市がこれまで培ってきた強みである「環境」、「共生」、「学び」、「活力」の4つの都市個性を見つめ直し、「杜の恵みと共に暮らすまちへ」、「多様性が社会を動かす共生のまちへ」、「学びと実践の機会があふれるまちへ」、「創造性と可能性が開くまちへ」の4つの目指す都市の姿を示しています。

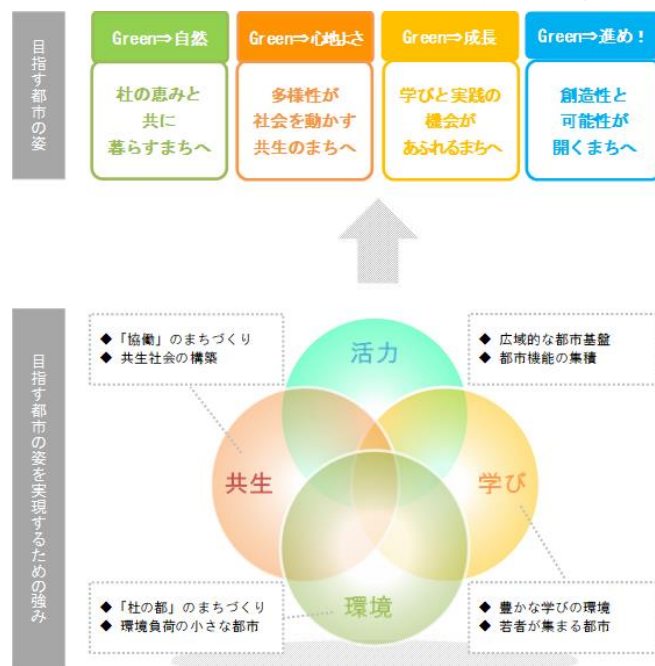


図2 目指す都市の姿の概念図(仙台市基本計画)

(2) 仙台市都市計画マスタープラン

仙台市都市計画マスタープランは、仙台市基本計画を踏まえ、都市づくりの目標像や基本方針を明らかにし、本市の都市づくりに関わる人々が都市づくりの目標像などを共有し連携を図りながら、都市づくりを総合的に展開していくことを目的としています。

■計画期間

仙台市基本計画に掲げた 21 世紀半ば(2050 年頃)を見据えた都市像の実現を目指し、仙台市基本計画の計画期間と合わせ、令和 3 年度(2021 年度)から令和 12 年度(2030 年度)までとしています。

■都市づくりの目標像



市民をはじめ国内外の人に、多様な活動の場所として選ばれる持続可能な都市であり続けるために、緑に包まれた美しくゆとりある環境と高次な都市機能が集積した利便性、防災環境都市としてのブランド力など、これまで培われてきた都市個性を生かし、さらに高めるとともに、挑戦を重ね、新たな魅力や活力を生み出す力強さと、様々な変化に対応するしなやかさによって、その価値を高め続ける都市、“新たな杜の都”を目指すこととしています。

■土地利用の基本的な考え方

自然と都市機能が調和した持続可能な都市構造の形成に向け、本市の特性を踏まえた土地利用を図りながら、鉄道駅を中心に都市機能の集約を進めることとしています。

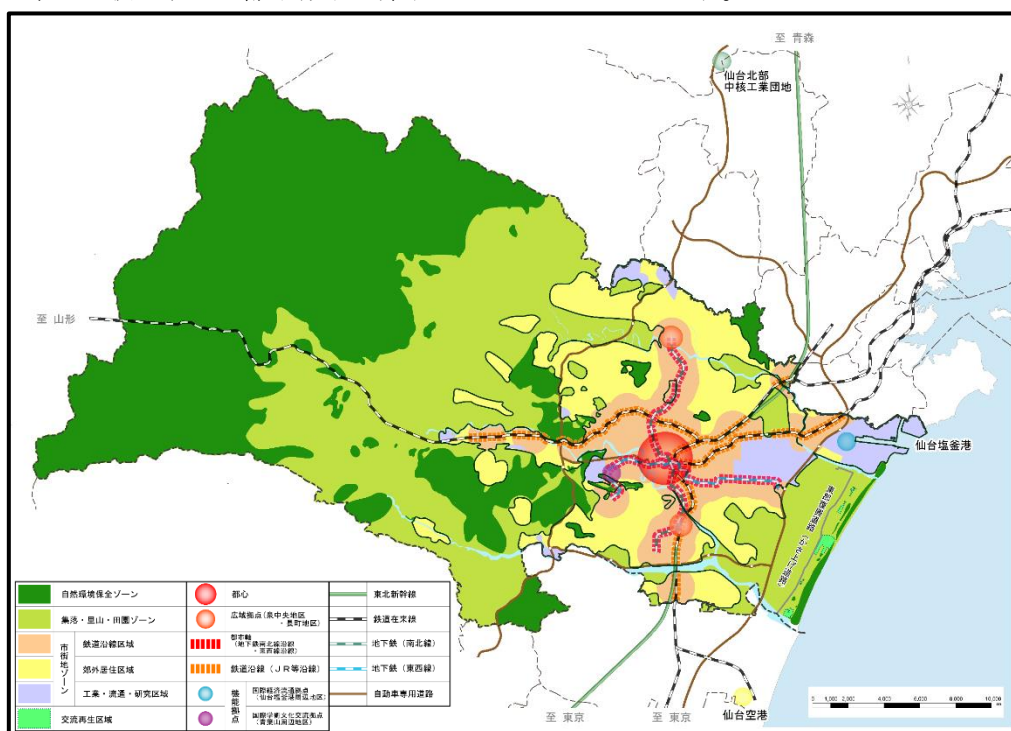


図 3 土地利用による地域区分(仙台市都市計画マスタープラン)

1-2-4. 社会的な動向

(1) 持続可能な開発目標 (SDGs)

SDGs とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、平成 27 年(2015 年)9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。

SDGs では、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、貧困や飢餓、格差や持続可能な消費・生産などの 17 のゴール(目標)とそれを達成するための 169 のターゲット(達成基準)が掲げられています。

本プランでは、SDGs の 17 の目標のうち、5 つの目標(3、9、10、11、13)が特に関連することから、同じ目的意識を持って計画を推進することにより、SDGs の達成に貢献していきます。



図 4 SDGs の 17 のゴール(目標)

出典: 持続可能な開発のための 2030 アジェンダと日本の取組(外務省)

(2) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

令和2年(2020年)に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、働き方や買い物、娯楽など、人々の生活に大きな変化をもたらしており、交通面に対しても、バスや鉄道利用の大幅な落ち込み、自転車の利用増加などの影響を及ぼしています。

公共交通は、市民の日常生活や経済活動等を支える都市インフラとして重要であるため、安定的な運行により、市民の安全・安心な移動環境を確保していく必要があります。公共交通における感染リスクについては、マスクの着用や車内の換気等の感染対策の徹底によって抑制できると考えられることから、今後も新しい生活様式等、社会の変化への対応力を高めながら、公共交通を中心とした交通政策を推進していきます。

外出が必要な方のために運行を続けています

お客様の安全・安心のための取り組みを行っています

マスクの着用・健康管理 窓開けによる換気 定期的な清掃・消毒

マスクの着用をお願いします 会話を控えるようお願いします ソーシャル・ディスタンス

なるべく間隔を空けご乗車下さい

感染拡大を防止するためにご協力をお願いします

やむを得ない急ブレーキ・急ハンドルの際、危険ですので手すり・つり革をお持ち下さい。降車後に手洗いをお願いします。

図 5 公共交通における感染対策の広報ポスター(交通事業者の取組紹介)

出典:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会資料

新型コロナにうつらない、うつさないために、今、できること。

バス・電車・タクシーは、この3つ

をみんなで守れば感染リスクはほとんどありません!

監修:宮沢孝幸 東京都立ウイルス・再生医療科学研究所

- 1 常にしっかり換気!
これで(広義の)「空気感染」リスクはほぼゼロ!
- 2 「目・鼻・口」は何が何でも触らない!
これで「接触感染」リスクはほぼゼロ!
- 3 お静かに…。話すなら小声で「マスク」!
これで「飛沫感染」させるリスクはほぼゼロ!

※身体が密着する程の「混乗車両」は「換気・窓エチケット」の徹底が困難となり乗りますのでお避け下さい。

もちろん、「窓エチケット」も大切です。*窓やしゃみは手で拭かず、上側の内側や袖(手袋)で拭きましょう。

JCOMM 発行:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

図 6 公共交通における感染対策の広報ポスター(安全な公共交通の乗り方)

出典:日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)作成資料